

新冠にまつわるお話しを集めた

新冠百話

第八十二話

「一本の毒矢（伝説）」（解説含む）

昔、チャシと呼ばれた砦（とりで）があったそうです。そのチャシは、現在の姉去橋の少し上流にあったという。

ある日、チャシに住んでいた長（おさ）の一族が狩りに出かけたそう。留守をしていた長の奥さまは、川で水を汲んでいたところ、対岸から何者かによって毒矢を射られた。

その毒矢はお尻に当たった。まわりの人たちは手当のほどこしようもなく、長のあとを追いかけて事の次第を説明した。長は急いでチャシに戻ったが、すでに奥さまは息絶えていたという。

【解説】

○アイヌの砦に「チャシ」と呼ばれる場所がありました。地面に窪みを掘り、戦いの防塞、漁撈の見張り場、交易拠点、祭事など、多様に使用していました。新冠では判官館や氷川神社、万世や明和にチャシ跡が確認されており、中には今でも窪みが残っているものがあります。現在は、明治期以前の遺跡扱いとなっています。姉去橋の近くにチャシは確認され

ていませんが、今回のお話は万世にあるチャシのことを指しているのでしょうか。○アイヌ民族が扱う矢には、獲物を仕留めるために毒が塗られていました。よく用いたのがトリカブトの根を主原料とする毒で、ヒグマでさえ一カ所毒矢が当れば絶命するほどだったといわれています。



トリカブトの花。きれいな姿とは裏腹に猛毒の植物。新冠でも多く自生しているので注意が必要。



現在の姉去橋付近。この近くにアイヌ民族の砦「チャシ」があったのだろうか。

秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）が実施されます！

- 夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止
- 「ハンドサインでストップ運動」で事故防止
- 飲酒運転の根絶
- スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底
- 自転車等の交通ルールの理解・遵守、ヘルメット着用の促進 静内警察署

戸 籍 の 窓

7月21日～9月5日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

伊藤 駿 ♡ 小池 真実 美 宇

●お誕生おめでとうございます

村上 陽紀（進治 優奈）万 世
近藤 琴羽（翔太 奈美）西泊津
東 光織（尚弘 智美）節婦町

●おくやみ申し上げます

町田 勝雄 9 3 歳 東 町
関口 幸洋 5 6 歳 東 町
小林 まさ子 9 4 歳 若 園
野村 桃枝 9 1 歳 北星町
名須川 君江 9 6 歳 節婦町
野垣 敏子 9 0 歳 北星町

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

人の うごき

（令和7年8月末現在）

人 口	4,970 人	（前月比 + 6 人）
男	2,505 人	（前月比 + 8 人）
女	2,465 人	（前月比 △ 2 人）
世 帯	2,811 世帯	（前月比 + 3 世帯）